

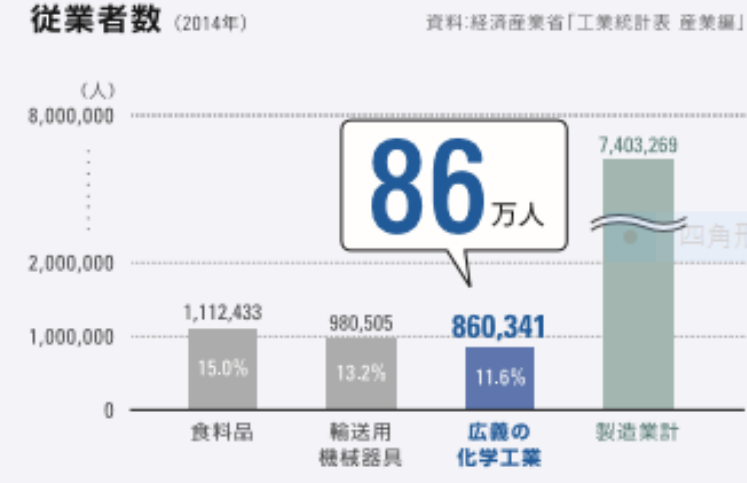
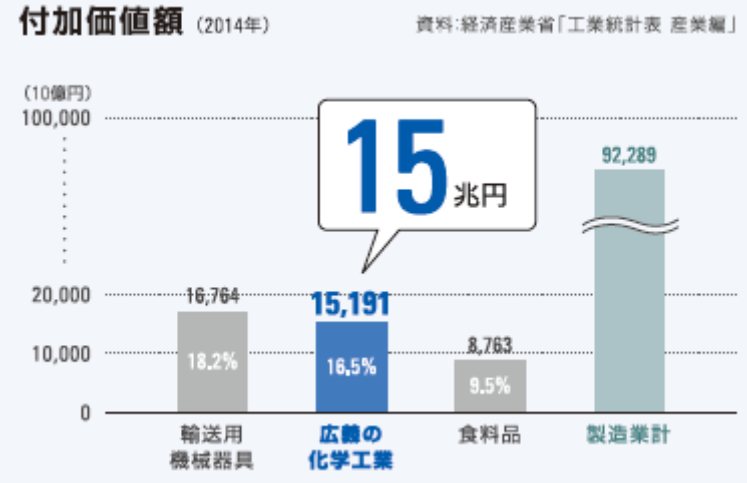
# 化学物質管理への取り組み 日本化学工業協会



2017年9月27日  
(一社)日本化学工業協会  
常務理事 石井一弥



➤ 化学工業は、我が国の主要産業として、  
 私たちの暮らしを豊かで快適にする製品  
 を提供するだけでなく、我が国の製造業  
 を支え、温暖化等の地球規模のさまざま  
 な課題の解決に貢献



広義の化学工業 = 化学工業 + プラスチック製品 + ゴム製品

## 1. 設立 1948年

## 2. 組織 会長:石飛 修 (住友化学(株)代表取締役会長)

- ・ 企業会員 177 社
- ・ 団体会員 80 団体



公認キャラクター  
ニッカちゃん

## 3. 使命、役割

- ・ **日本を代表する工業会**として、**国際化学工業協会協議会 (ICCA)**に参画し、**欧米の協会とともに世界の化学産業の取り組みをリードする**

### 1) 化学産業の健全な発展

- ・ 化学産業発展の為の環境作り
- ・ 化学産業の社会全体に対する貢献の発信
- ・ 化学品のサプライチェーン全体についての配慮と情報提供

### 2) 我が国経済の繁栄と国民生活の向上

- ・ 一般消費者からの相談と対話

WSSD2020目標（2002年、ヨハネスブルグサミット）

2020年までに、化学物質の製造と使用による人の健康と環境にもたらす悪影響の最小化を目指す

WSSD 目標達成のため、グローバルレベルで政府、産業界が**国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ(SAICM)**を策定、推進（2006年～）

具体的  
取り組み

政府

- 化学品政策・規制への導入、国際条約への対応
- ・日本は第4次環境基本計画に組み込み、化審法等を改正

産業界  
(ICCA)

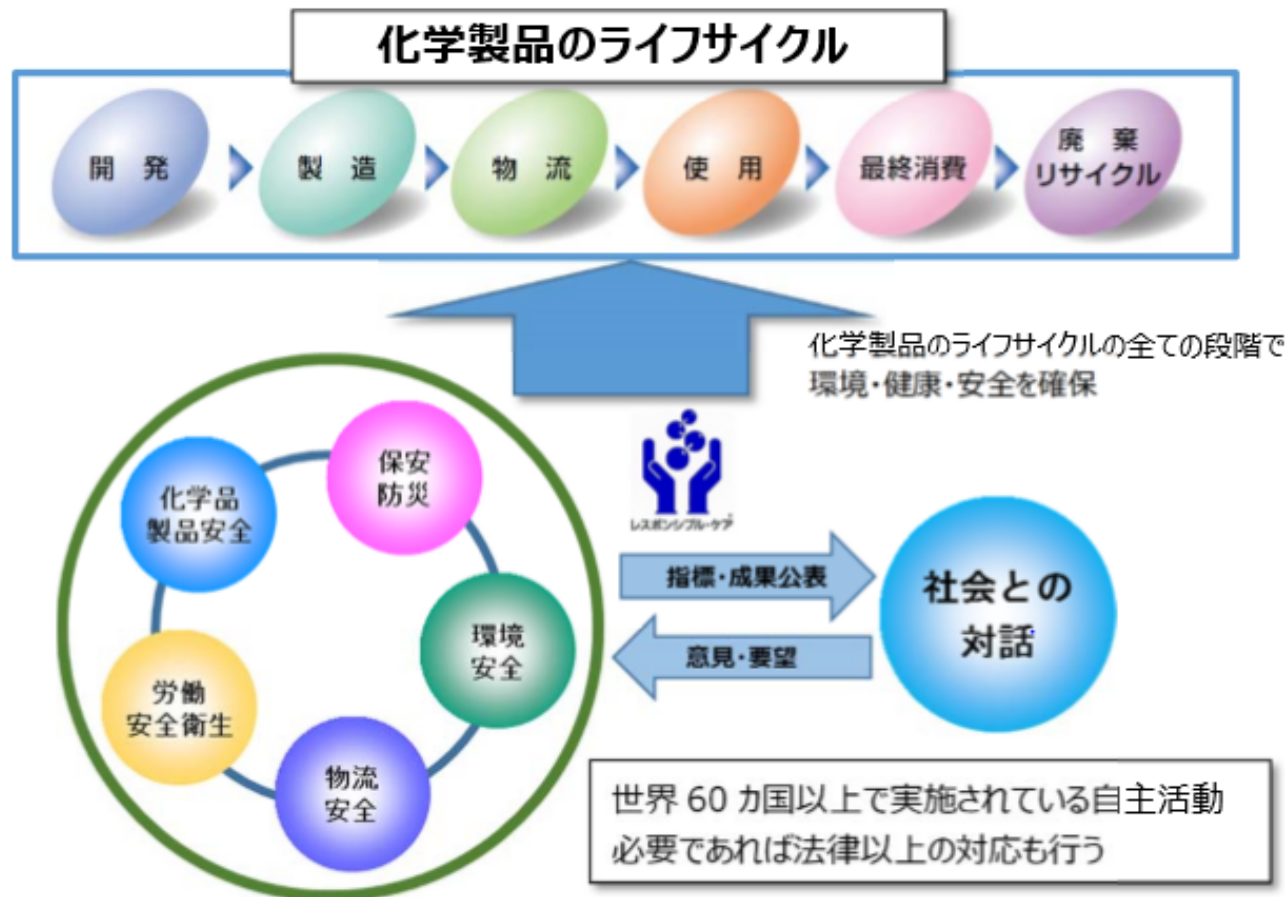
- RC世界憲章
- ・企業CEOがWSSD2020目標達成に向け取組みを公約、署名
- 化学製品管理戦略(GPS<sup>\*1</sup>)
- ・企業が自社製品をリスク評価し、リスクに基づく適正な管理を行うとともに安全性情報を公開する取組み
- 長期自主的研究(LRI<sup>\*2</sup>)
- ・化学物質の安全性研究を長期的に支援する助成事業 他

\*1: Global Product Strategy

\*2: Long-range Research Initiative

## レスポンスフル・ケア活動

- 化学製品が生まれてから消費・廃棄されるまでの全ての段階で、環境・健康・安全を確保し、その内容を近隣地域や消費者を含む全てのステークホルダーへ開示し、コミュニケーションを図る自主的な取り組み



# 日化協の取り組み

- ICCAの枠組みで、あるいは独自に、WSSD目標達成を目指し、**リスクベース管理の定着に向けた取り組みを推進中**

## 1. GPSの日本での普及、推進(GPS/JIPS\*1)

JIPS: Japan Initiative of  
Product Stewardship

- ・会員企業が自社製品のリスク評価を行い、情報公開する取り組みを推進。約500製品について安全性要約書を公開中

## 2. リスク評価支援ITツール、新規技術の開発

- ・事業者がリスク評価を簡便、効率的に行うために、ワンストップのリスク評価ポータルサイト「BIGDr」を構築、公開
- ・混合物リスクアセスメント手法「GHS法」を開発

## 3. 人材育成、能力開発支援

- ・次ページ参照

## 4. 長期自主的研究(LRI)の推進

- ・5つの分野で、公募や指定による課題テーマで研究推進
- ・研究報告会や国際ワークショップを開催

- 企業にリスクベースの化学物質管理を定着させ、この分野の人材を育成するための教育、セミナーを開催

## 1. ケミカルリスクフォーラム

- ・ リスク評価ができる企業内人材の育成を目的に専門家が講義。 2008年開始、年10回



## 2. 改正安衛法対応リスクアセスメントセミナー ケミカルリスクフォーラム

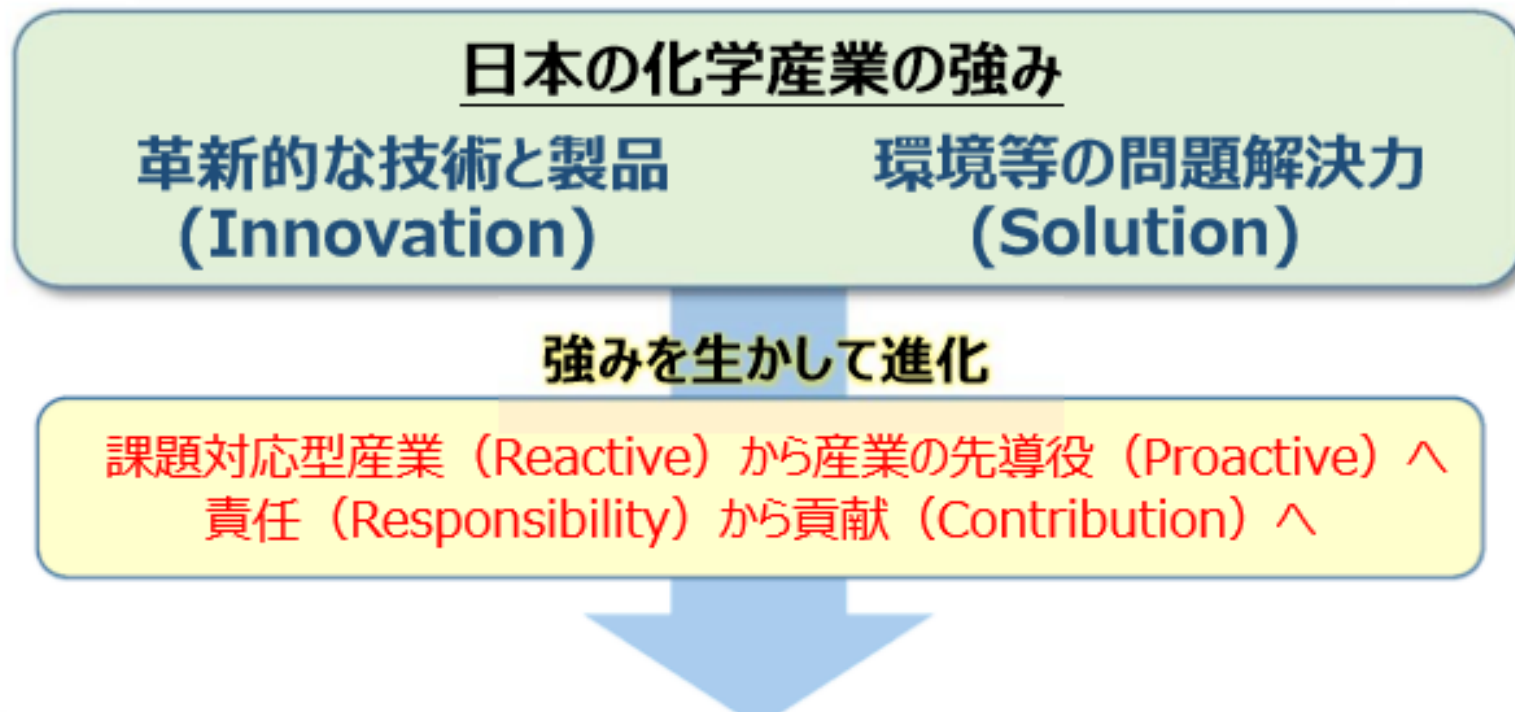
- ・ 改正安衛法に特化し、作業者リスクアセスメントを実践的に理解する。厚労省後援で2016年度は全国11か所にて開催し、500名以上参加

## 3. アジア地域へのキャパシティビルディング

- ・ ICCAの取り組みとして、ASEAN各国現地にて、リスクベース管理やGHS導入に向けたワークショップやセミナーを開催



- 日本の化学産業の強みを活かした、SDGsに貢献するためのビジョンを新たに策定（2017年5月）



ビジョン1 化学の力でイノベーションを創出し、人々の豊かで健やかな生活に貢献

ビジョン2 世界的な環境・安全問題への取り組みを支援

ビジョン3 ステークホルダーとの対話を通じて化学産業による貢献を促進



- 日本化学工業協会は、環境・健康・安全を確保し、社会とのコミュニケーションを行うレスポンシブル・ケア活動を推進
- 化学物質管理については、第4次環境基本計画の重点分野の一つである、WSSD2020目標達成に向けたリスク最小化への自主的取り組みを推進、展開中
- その成果として、リスクベースの化学物質管理は着実に普及、浸透しているが、サプライチェーン全体に定着させるためには、関係機関の協力も得ながら継続した取り組みが必要
- 一方、WSSD2020の先を見据えて、SDGsに向けたビジョンを策定。今後、この中で具体的な化学物質管理の施策を検討予定

ご清聴ありがとうございました



化学、いつもあなたと

